

7.15 summer 2023

〒810-0001福岡市中央区天神5丁目2-1

公益社団法人 福岡県美術協会(福岡県立美術館内)

tel:092-713-4200 fax:092-791-1472

E-mail: fasartseven@wing.ocn.ne.jp

https://fukuoka-ken-art-society.com/



風化の行方 100F アクリル 2018

作品探訪 「風化の行方」

原田 靖雄 (洋画部会委員)

描かれた朱い三つの円、それを受け止める舟形。その朱は不安げに揺れる舟形から、画面からもこぼれようとしていた。

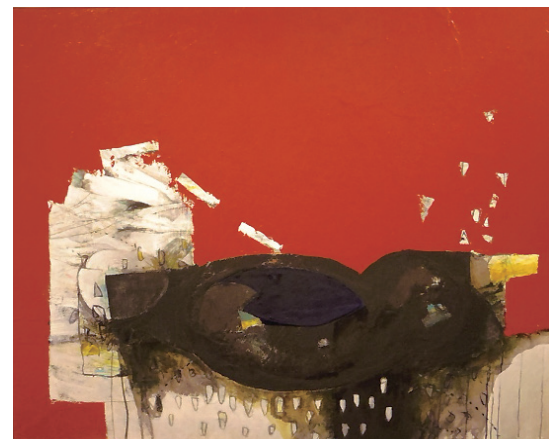
三つの円、印象的なその朱(あか)について伺うと、「弁柄(ベンガラ) 酸化鉄です。それは鉄の錆の色であり、北九州の街の色でもあるんです。そして、この絵は八幡製鉄所の不滅の産業神話の終焉と東日本大震災で崩れた安全神話を象徴しつつ、今の私達が抱える不安でもあるんです」と語る。

震災で炉心溶解した福島の子炉。ウラン、プルトニウム、セシウムなどの放射性元素が乗る原子炉という船は危ういのだ。

抽象画の魅力として話された見立て(比喩)の中に、作者の社会や世界に対する鋭い眼差しと深い思索が見え隠れする。



風化の行方 50F アクリル 2017



風化の行方 100F 油彩 2015

他の作品の朱も印象的だ。朱に浮かぶ風景や街並みには雨が降っている。降り注ぐ黒い灰の雨、目には見えない放射能の白い雨、ゆっくりと時を刻むように風景は背景の朱に沈み込んでいく。これが実感する今の世界だと言わんばかりだ。鉄の街北九州八幡は、東北の釜石とも重なる。しかしそれらの絵に込められた不安なイメージとは違って、語る声は絵の構成のように明快だった。

(インタビュアー: 文津田三朗)



原田 靖雄
(はらだ やすお)

「熱中する日々」

絵画制作に携わって60年が過ぎました。高校時代漫画家志望でした。もっと上手く描きたいとデッサンやスケッチを勉強しているうち、いつの間にか絵画に熱中していききました。昭和34年八幡の高校を卒業して八幡製鉄所(現日本製鉄)の絵画同好会「朱画会」に入部しました。

当時の朱画会は職場美術同好会の域を遥かに超え、まるで美術学校のようなでした。独立展・自由美術・二科展など東京の公募展に出展している先輩も多くいて、月一回作品合評会を開催していて、私たち新人の作品を皆でワイワイ・ガヤガヤと合評会が始まるのですが、批評やアドバイスを嬉しくて作品制作に熱中していききました。

とにかく、この時期4年間余の一生懸命は記憶が焼き付いて、「やればなんとかなるさ」と云うことは本当だったと、実感しました。(作家ご本人の記述より)

- 1941 北九州市に生まれる
- 2010-2018 北九州美術家連盟会長
- 1961 八幡市展 (優秀賞)
- 1962 福岡県美術展 (八幡市長賞)
- 1963 福岡県美術展 (北九州教育委員会賞)
- 第1回北九州市総合美術展 (努力賞)
- 1963-69 朝日油絵コンクール
- 1966-82 独立展
- 1978-84 北九州絵画ビエンナーレ (84年優秀賞)
- 1984 現代日本絵画展
- 1985-2022 九州制作会議展
- 1986 ビエンナーレ受賞者達のその後展
- 1996 幸播な絵画空間展
- 1998 北九州からの発信展
- 1999-2022 岡垣アートフェスティバル
- 2008 日韓現代美術展
- 2009 九州コンテンポラリーアート展 福岡
- 2012 九州コンテンポラリーアート展 熊本
- 2013 原田靖雄展 -50年の軌跡-
- 北九州市立美術館本館アネックス
- 2015 土田恵子+原田靖雄+松川英俊 展
- Gallery-58 銀座 東京
- 2022 原田靖雄 (抽象画小品&はがき絵) 展
- 画廊喫茶「くるくる」八幡 北九州
- 原田靖雄作品展 画廊喫茶「こもれび」門司



令和5年度 公益社団法人 福岡県美術協会定時総会報告

令和5年6月25日(日) 14:00-16:10
アークホテルロイヤル福岡天神

6月25日(日)梅雨曇りの空の下、アークホテルロイヤル福岡天神を会場に、令和5年度公益社団法人福岡県美術協会定時総会が開催された。正会員総数763名に対し、出席者177名、委任状参加者359名、正会員総数の過半数に達する合計536名の出席を得て、定款第18条第1項の定足数を満たし総会は成立。午後2時、阿部眞士専務理事の開会宣言で定刻に開会。村里豊伸事務局長の司会、田浦哲也特任事務局長のアナウンス補助、洋画部野出員子会員の場内マイク担当により総会は進められた。

小田部黄太理事長の冒頭挨拶では、昨年度の総括と今年度の取り組み等が述べられた。

続いて協会顧問の紹介。代表して今林久福岡県議会議員よりご挨拶を頂いた。

その後来賓の紹介。代表して福岡県教育庁教育振興部社会教育課矢野勝也課長と福岡県立美術館寺崎雅巳館長よりご祝辞を頂戴した。

議事に先立ち、議長を務める小田部理事長より、洋画部川副了造理事、デザイン部佐土嶋文香理事に議事録署名人が委嘱され、書記には日本画部塩先晋照事務局長、工芸部太田富隆事務局長、記録撮影は写真部山崎政男事務局長が委嘱された。

■審議事項

第一号議案 令和4年度事業及び決算承認の件

I. 令和4年度 事業報告及び経過報告

(鐘ヶ江副理事長)

II. 令和4年度 決算報告(西財務担当理事)

III. 令和4年度 監査報告(筒井監事、篠原監事)

第二号議案 理事及び監事 選任の件

採決の結果、いずれも賛成多数を得て可決承認された。

■報告事項

I. 令和5年度 事業計画及び収支予算

(鐘ヶ江副理事長、村里事務局長)

II. 令和4年度 会員の異動

(退会者26名、逝去者11名)

その後休憩に入り、その間開催された理事会で選定された新三役理事長小田部黄太、副理事長鐘ヶ江勢二、専務理事倉橋協子を含む新理事、新監事が、休憩終了後紹介された。

続いて、選挙により新たに選ばれた各部会の部会委員が紹介された。

令和5年度新会員が紹介され、各部会委員長から入会認定書が交付された。

会員在籍40年表彰では対象者9名が紹介された。

阿部専務理事の開会宣言と共に午後4時10分、総会は無事終了した。(文責・村里事務局長)

福岡県美術協会定時総会に寄せて



福岡県教育庁教育振興部
社会教育課長
矢野勝也

公益社団法人福岡県美術協会におかれましては、日頃から福岡県美術展覧会をはじめ各種の展覧会の開催、地域文化の発展に資する事業の実施などを通して本県における文化芸術の振興に多大なる御貢献をいただき、心から感謝申し上げます。

また、会員の皆様におかれましては、平素の創作活動はもとより、会員相互の研鑽や、県内各地における普及活動などに御尽力いただいていることに對しまして、心から敬意を表します。

昨年度は、会員の太田哲三様が小石原焼の卓越した技能が認められ、秋の褒章「黄綬褒章」を受章されました。さらに、名誉会員の太田秀隆様と会員の師村妙子様が地域文化功労者文部科学大臣表彰を受賞された

福岡県美術協会定時総会を終えて



公益社団法人
福岡県美術協会 理事長
小田部黄太

本年度の美術協会定時総会を、6月25日(日)14時よりアークホテル福岡ロイヤル天神において開催いたしました。177名の会員にご出席いただき、滞りなくご審議を頂きました。今回は理事の改選の年ですが、これにつきましても原案通りご承認いただきました。ありがとうございました。

私も今回の新理事による互選で、理事長に再任されました。4期目と言つことになり、いささか長すぎるのではと感じておりますが、再任されましたからには、引き続き精一杯務めてまいります。これまでの6年間で振り返りますと、定款に基づき、各種規約・規程の制定や整備、それにあわせて定款の変更等に取り組んできました。それらにつきましても概ね形になったのでは

ほか、第一〇六回二科展では、会員の田浦哲也様が内閣総理大臣賞を受賞されました。本県にとりまして誠に名誉なことであり、心からお慶び申し上げますとともに、今後ますますの御活躍をお祈りいたします。

さて、本年度の福岡県美術展覧会では、写真部門で初めてウェブ出品を可能とする新たな取組を取り入れられたと聞きしております。これまで以上に幅広い世代の人々の創作意欲が喚起され、また、県民の文化芸術に触れる機会がさらに広がっていくことにつながるものと期待しております。

文化芸術は、人々に楽しみや喜び、感動を与え、人生を豊かで活力あるものとする上で、大変重要なものであり、誰もが等しく生涯を通じて文化芸術に親しめる環境づくりが求められています。

県教育委員会といたしましては、今後とも、本県の文化芸術の普及と発展のため、福岡県美術協会の皆様とより一層の連携を図って参りたいと考えておりますので、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、福岡県美術協会のさらなる御発展と、会員の皆様方ますますの御活躍を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

ないかと考えております。

課題としては、出品者の減少が続いております。「県展」の改革、特に若い世代へ魅力のある「県展」へ、どのように改革を進めていくのか。更に、協会自体の財務状況の改善、賛助会員数を増やすことや県展への協賛企業の開拓等、取り組みはまだまだ道半ばです。

ここ2、3年の協会の活動においては、コロナ禍の影響下で思うに任せない点も多く、忸怩たるものもございましたが、ほぼ、日常を取り戻しつつある社会状況下で、様々な課題に対し積極的に前向きに取り組んで参りたいと考えています。協会の目的であるところの「美術文化の普及・振興」に向け会員の皆様の創作活動や後進のご指導等におかれましても、活気のあるお取り組みを期待しております。どうか、県展公募の部にも多くの力作が集まりますよう、会員の皆様のお声かけ、ご尽力をお願いいたします。

令和11年に開館予定の新県立美術館に向けて、協会の取り組み全般の見直し、改革を進めていかなければなりません。会員の皆様のご提案、ご尽力を頂きながら力強く進めて参ります。どうぞよろしくお願いを申し上げます。



写真

糸島市
浜田 義明

向き合う被写体に感謝の気持ちを忘れずに。



写真

古賀市
平良 朝子

記憶に残る「感動の瞬間」を撮り続けたいと思います。



書

飯塚市
高橋 桃華

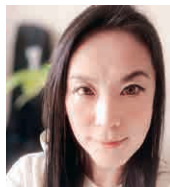
楽しく学べる様努力してまいります。



書

古賀市
大西 満喜江

生活の中に書があり、楽しめる日常を。



彫刻

福岡市早良区
高 和江

触って感じるアートを全ての皆様へ届けたい。

新会員紹介



今年度、38名の方が
ご入会されました
今後のご活躍をお祈りします



写真

那珂川市
平城 尚則

健康に気をつけながら努力して参ります。



写真

筑紫野市
戸曾 美成

スポーツをする人の喜怒哀楽やドラマの撮影。



書

福岡市南区
深堀 美郷

福岡の書の啓蒙普及に努めていきたいです。



書

北九州市小倉南区
岡田 利定

書という友を得、益々人間力を高めたい。



彫刻

北九州市若松区
宮脇 俊幸

気力・体力果てるまで活動出来ればと思う。



写真

福岡市早良区
福島 秀和

入会の感謝と写真への情熱で会に寄与したい。



写真

福岡市早良区
中尾 泰史

探求心と向上心を持ちチャレンジします。



書

北九州市小倉南区
宮尾 幸

書を楽しむ学び、充実した人生を送りたい。



書

中間市
岡部 黄華

長い道のり、頑張った甲斐がありました。



工芸

福岡市中央区
阿部 範子

先人の匠の技に日々ときめきと感動を覚えます。



洋画

北九州市戸畑区
前田 安記

入会に感謝し楽しみながら描き続けて参ります。



日本画

北九州市小倉南区
東 直子

新しい課題をみつけ画力を高めていきたい。



写真

久留米市
堀 美子

出会いを大切に感動を求めて楽しみたい。



写真

柳川市
長田 敦子

感動し感性を磨いて良い作品を目指します。



写真

北九州市小倉北区
井上 眞由美

一生勉強一生青春を肝に銘じています。



書

福岡市南区
川崎 裕佳

一歩ずつ地道な前進を続けていきたいです。



工芸

福岡市東区
今林 久

新県立美術館が世界に名を残して欲しい。



洋画

遠賀郡岡垣町
渡辺 透志子

少しでも感動出来る絵が描けたらと思います。



洋画

太宰府市
金子 元義

美しい透明水彩を追求していきます。



写真

福津市
升本 正勝

進化するデジタル写真に取組んでいきます。



写真

北九州市門司区
中村 博

美術協会の会員になり恥じない作品に努めます。



写真

北九州市門司区
神田 昭司

撮影は今後も自然体で思っております。



書

嘉穂郡桂川町
小玉 虚翠

倦まず弛まず書いていければと思います。



書

久留米市
井上 絵理

書道文化の継承、発展に尽力したい。



洋画

北九州市戸畑区
渡部 孝

風景の一コマに物語を見い出して描きたい。



洋画

福岡市南区
栗岡 恭子

いい絵が描けるよう努力します。



デザイン

大野城市
佐藤 寛子

私のイロを探る旅にでる。出会いに感謝を。



写真

北九州市小倉北区
仁田原 加代子

学べる事に感謝し写真の活動に貢献します。



写真

北九州市門司区
神田 洋子

感動する心を忘れずに楽しみたいと思います。



書

久留米市
杉尾 愛佳

書の道は一日にしてならず。精進致します。



書

朝倉市
大竹 美喜

感性を磨き、チクリと心に刺さる表現を!



彫刻

小郡市
小森 博之

少しずつ、着実に、制作を楽しみたいで。



洋画

古賀市
弘保 廣志

東西文化の統融合した画面を創造してゆく。

新役員紹介

今期もよろしくお祈いします



理事
新 太田 剛速
(工芸)

工芸部の理事として協会の発展のため微力ながら精一杯務めさせていただきます。



理事
山本 隆明
(彫刻)

おおまんな性格の私ですが、むり、むだ、むらが、少しでもなくなる様にしたいです。



理事
川副 了造
(洋画)

地域文化の振興と発展に微力ながら尽力して参りたいと思ひます。



理事
宇田川 宣人
(洋画)

会員の多様なご意見を反映し、更に明るく、充実した美術協会を目指す。



理事
城戸 久美子
(日本画)

コロナ後の新しい時代を皆様と共に創りましょう。ご指導とご協力をお願い致します。



専務理事
倉橋 協子
(日本画)

福岡県美術協会の発展の為に微力ながら務めさせて頂きたいと思っております。



副理事長
鐘ヶ江 勢二
(書)

美術協会活動が活性化するように尽力してまいります。ご協力をお願い致します。



理事長
小田部 黄太
(彫刻)

県展の改革は待たないです。理事会で力を合わせ取り組んでまいります。

理事



財務担当理事
西 章
(税理士)

財務の西です。税理士としての経験等を活かしてお手伝いできればと思います。



理事
新 阿比留 潔
(デザイン)

美術の普及、振興に貢献できますよう、研鑽して務めてまいりたいと思ひます。



理事
佐土嶋 文香
(デザイン)

魅力ある公募展にする為に今出来る事をしっかりと見極め取り組んで行きます。



理事
新 西村 美代子
(写真)

美術協会の発展のため、お役に立てるよう努力したいと思っております。



理事
新 進藤 祐光
(写真)

福岡県の文化を美術の世界に発信していきますので宜しくお願い致します。



理事
矢野 菜山
(書)

美術協会の活動の充実と発展のため、理事としての職責を果す所存です。



理事
新 中村 信喬
(工芸)

福岡県美術協会の発展に少しでも力を出せればと思ひます。



特任事務局員
小林 敏夫
(写真)

恒常化した多忙な事務局業務の一助と成る様に努めたいと思ひます。



特任事務局員
丸田 巧
(工芸)

工芸部会役員の経験を生かして美術協会発展のために務めたいと思ひます。



特任事務局員
田浦 哲也
(洋画)

美術の振興と普及のため、事務局業務のお手伝いができるよう、努めてまいります。



事務局参与
嘉村 知久
(会員外)

教育行政の経験を活かして、どのような分野でもお手伝いできればと思ひます。



事務局長
村里 豊伸
(会員外)

引き続き事務局長として美術協会の活動に携わります。よろしくお祈いします。

事務局



監事
筒井 知徳
(工芸)

監事役員として公益社団法人美術協会の適正な運営と発展に尽力して参ります。



監事
篠原 俊
(外部監事 公認会計士 税理士)

外部監事として引き続き当協会の発展に貢献できるよう尽力いたします。

監事

退任役員のご紹介

任期お疲れ様でした

専務理事
阿部 眞士 (工芸)

理事
遠藤 喜代志 (工芸)

理事
川島 幹夫 (写真)

理事
廣田 俊憲 (写真)

理事
田邊 幹夫 (デザイン)

部 門	役員氏名	担当業務
日本画	城戸 久美子	普及振興 (シニア展)
	倉橋 協子	福岡県美術展覧会
洋 画	宇田川 宣人	福岡県美術展覧会・新美術館建設推進
	川副 了造	普及振興 (シニア展)・総 務
彫 刻	小田部 黄太	福岡県美術展覧会
	山本 隆明	普及振興 (シニア展)
工 芸	太田 剛速	福岡県美術展覧会
	中村 信喬	普及振興 (シニア展)・総 務
書	鐘ヶ江 勢二	福岡県美術展覧会
	矢野 菜山	普及振興 (シニア展)
写 真	進藤 祐光	普及振興 (シニア展)
	西村 美代子	福岡県美術展覧会
デザイン	阿比留 潔	福岡県美術展覧会
外部理事	佐土嶋 文香	普及振興 (シニア展)・広 報
	西 章	財務・税理士
監 事	篠原 俊	外部監事・公認会計士・税理士
	筒井 知徳	福岡県美術展覧会 (監事)

担当業務

顧問紹介

ひき続きよろしくお祈いします



顧問
吉塚 雄二
写真部正会員



顧問
今林 久
福岡県議会議員
(工芸部正会員)



顧問
松尾 新吾
九州電力株式会社
特別顧問

〈 賛助会員のご紹介 〉

多くの企業の御支援を
いただいています。

- 九州電力(株)
- (株)福岡銀行
- 西武ガスホールディング(株)
- 西日本鉄道(株)
- (株)西日本シティ銀行
- (株)九電工
- 九州旅客鉄道(株)

- 朝日自動車(株)
- (株)味の兵四郎
- ASOポップカルチャー専門学校
- 有澤ホールディングス(株)
- (株)岩田屋三越
- (株)ヴォイス
- (株)ACR
- (株)エターナルラボ
- 大松隆税理士事務所
- 北九州書道協会
- (株)喜多屋
- ギャラリーSEL
- (株)久原本家グループ
- 健康住宅(株)
- 社会福祉法人さわやか会
- (株)サンピルテックシステム
- (株)上海堂
- 祥文社印刷(株)
- (資)書材の丸大
- (株)新出光
- (株)杉田写真館
- (株)ゼンリン
- 太宰府天満宮
- タマホーム(株)
- (株)テレビ西日本
- 東美 福岡店
- 長門博之法律事務所
- (学)中村学園
- (学)中村産業学園
- (九州産業大学・九州産業大学造形短期大学部)
- (株)中村美術堂
- 日本デザイナー学院
- (株)博運社
- 筥崎宮
- 晩香堂
- (株)樋口工業
- 福岡芸生美術会
- 福岡ロジテム(株)
- (株)平助筆復古堂
- 平成美術(株)
- 墨扇堂
- (株)みぞえ画廊
- ミナミ画材
- 南谷総合法律事務所
- (株)山本文房堂
- 文房四宝 和美創
- (株)ワン・オフ

福岡県立美術館 着任職員ご紹介



福岡県立美術館
副館長
明永 好弘

本年四月一日付で副館長に着任いたしました。
よろしくお願いたします。

福岡県美術協会におかれましては、創立以来
八十年以上の長きにわたり、本県の芸術文化の
普及・振興に多大な貢献を賜り、深く感謝申し
上げます。

さて、世の中に大きな影響を与えている新型
コロナウイルス感染症ですが、この五月八日か
ら感染症法上の位置付けが「5類感染症」に変
更されました。これにより、社会経済の動きが
本格的に平時に戻っていくものと期待されます。
当館といたしましては、こうした世の中の動き
を捉え、美術協会の皆様方の御協力を賜りなが
ら、今後も本県の美術の更なる振興と発展を目
指し努力してまいりたいと考えております。
最後に、福岡県美術協会の今後の御発展と会
員の皆様方の益々の御活躍を祈念いたしまして、
挨拶とさせていただきます。

福岡県立美術館 新課長



学芸課長
鈴木 理恵

普及課長

畑山 智



本年四月一日付で着
任いたしました。美術
協会の皆様方と連携を
図りながら、本県の芸
術文化の普及・振興に
一所懸命取り組んでま
いります。どうぞよろ
しくお願いたします。



福岡県立美術館

コレクション展 I

ひろがる日本画

6月6日(火)〜8月31日(木)

会期中前後期の展示替えがあります

時代を経るごとに、その形態や表現が変化してき
た日本画。今回のコレクション展は、「ひろがる」を
キーワードに、当館収蔵の日本画を中心に展示いた
します。江戸後期から平成まで、年代も表現も幅広
い作品を前に、日本画鑑賞の眼もきつと「ひろがる」
ことと思えます。また、「小特集・ひろがるコレク
ション」も同時開催し、寄贈や購入によって新たに
当館のコレクションに加わった作品たちをご紹介いた
します。特に、昨年度購入の日本画2点(吉村
忠夫、横尾芳月)、工芸9点(小川規三郎、松枝哲哉、
福島善三、中村信喬)は、各作家の実力が存分に
発揮された、美しく魅力あふれる作品たちです。

コレクション展は65歳以上の方は無料、さらに今
年度は小中学生以下の方も無料でご覧いただけま
す。ぜひご家族、ご友人お誘いあわせの上お越し
ください。

(学芸員 / 中島 由実子)



横尾芳月《茶々懸》昭和2年、福岡県立美術館蔵

第78回 福岡県美術展覧会に寄せて

福岡県立美術館 普及課 高橋 大輔



今年度、第78回福岡県美術展覧会を担当します高橋と申します。

今回の第78回は大きな転換点ともなりうる試み、写真部門のWEB申込・出品が始まります。スマホで撮った写真がそのまま公募展に出品できる。誰もが表現者であり、発信者になりうる時代に合わせた公募展の新たな姿といえるでしょう。この私たちのチャレンジが、多くの人のチャレンジする機会となれば幸いです。特に若い方々の県展に対する認知がこれを機会に広がり、県展の活性化とともに、今後の福岡県のアートシーンがますます発展することを願っています。今後も時代の変化をとらえ、どの年代からも愛され、楽しみにしていただける県展にしていきたいです。皆様のご協力をお願い致します。



WEB出品に関するQRコード



■会期

〈第1期〉【彫刻・写真】

9/5(火)～10(日)

〈第2期〉【日本画・工芸・デザイン】

9/12(火)～18(月・祝)

〈第3期〉【洋画】

9/20(水)～24(日)

〈第4期〉【書】

9/26(火)～10/1(日)

■会場

福岡県立美術館

■巡回展

筑後展 / 大牟田文化会館

筑豊展 / 嘉麻市立織田廣喜美術館

宗像展 / 宗像ユリックス

北九州展 / 北九州市立美術館

2023 福岡県シニア美術展

福岡県人づくり・県民生活部文化振興課 多地 健祐



「福岡県シニア美術展」は、福岡県内に在住する60歳以上の方を対象に、日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・デザインの7部門の作品を広く募集して展示し、高齢者の文化活動を促すとともに、ふれあいと生きがいづくりを推進する趣旨で開催しており、昨年度は502点の出品がありました。

この美術展は、「全国健康福祉祭(ねんりんピック)」の福岡県代表作

品(北九州市、福岡市、デザイン部門を除く)の選考を兼ねており、今年度開催する「2023 福岡県シニア美術展」では、2024年開催の「第36回 全国健康福祉祭鳥取大会美術展」の本県代表作品を選考予定です。

また、今年度から、「福岡県シニア美術展」は「ふくおか県民文化祭」の一環として実施されることになりました。ふくおか県民文化祭は、文化

芸術に身近に触れる機会を県民の皆様提供し、文化芸術の裾野の拡大や新しい県民文化の創造と発展を図るため、平成5年から毎年開催しており、今年で31回目となります。

「ふくおか県障がい児者美術展」「福岡県美術展覧会」に加え、「シニア美術展」が県民文化祭として実施されることを契機に、県民文化祭を一段と盛り上げていきたいと考えております。

令和5年部会委員選挙について

令和5年は部会委員選挙の年に当たりますが、1月17日開催の令和4年度第三回理事会での定款施行規程改正により、部会委員の任期は2年から4年に延長され、この規定に則り選挙は実施されました。

任期を4年にした主な目的は、習熟した部会委員としての活動を行うための時間的余裕の確保、及び50万円を超える選挙費用の削減等です。今回の改正で部会委員の任期等を定めた各部会規約改正の必要がありますが、選挙実施後であっても遅滞なく追認すれば問題ないとの判断を協会顧問弁護士から得ています。

2月から郵便投票により始まった部会委員選挙は、3月4日の第三回選挙管理委員会にて寺崎県立美術館館長会の下開票を行い、各部会とも新体制が発足しました。

又、部会からの理事会の独立性担保のため、嘗て理事は部会正副委員長との兼務が禁じられていましたが、部会と理事会の情報共有に支障が生じる等の理由で令和3年の選挙では見直され、今回もこのルールに則った理事候補が総会に上程されました。

(文責・村里豊伸事務局長)

県議会議長室前に 第77回 福岡県美術展覧会 会員の部受賞作品を展示

県議会議長室前ロビーに第77回福岡県美術展覧会 会員の部 受賞作品を展示しています。

展示作品は、峰松由布子さん「Sparkle」(日本画)、緒方敏子さん「小林一茶の句」(書)の2点です。



会報誌 fas65

ご持参の方はセカンドドリンクとして、グループ全員に大吟醸酒グラス1杯ずつサービスいたします。

地酒屋

全国の地酒200種類以上、焼酎100種類以上、取り揃えております。



ぼんちゃん

福岡市中央区西中洲11-6 三光ビル3階
TEL092-741-7977 FAX092-980-4762
info@bonchan.co.jp
bybonchan@gmail.com



丁寧につくる質の好いくらし



ちごたる「ちっご(筑後)」の
つくり人のこだわりの逸品。





©国画会写真部 松尾春龍

柴田善二先生を悼む

福岡県美術協会 名誉会員 木戸 龍一（彫刻部）

令和5年1月20日逝去
86歳

約60年前、小田部泰久さん（故人・彫刻家）から「福岡学芸大学（現・福岡教育大学）に東京芸大出身の柴田善二というのが赴任して来たが、三人で一度飲もうか」といわれ、それで1961年天神ビルの屋上ビアガーデンで、三人初めて一緒に顔を合わせた。

柴田氏は、東京芸大出身というくらいもなく、三人快く会うことが出来た。

話題の中心は、やはり福岡の美術界であり、特に彫刻界のことであった。結局一緒に福岡の彫刻界をもっと活発にする為、三人でグループ展をしようということで、「グループ玄」を結成した。

翌1962年、福岡ビル一階の空きスペースで、第一回玄展を行った。それ以来、彼と彼の作品とは、約60年間の付き合いになることとなった。

彼は、色々な動物を作って私達にみせてくれた。その動物達が、可愛かったり、非常に迫力があつたりするのを楽しむばかりではなく、私は、材木と材木のつなぎ方、隙間のうめ方などに特に注目した。

それらは、うまいというより実に見“雑”だった。ところがその“雑”なつなぎ目が全体として見ると、実に迫力があつた、愛嬌があり、彼のねらいは、こういうところにもあつたのかと後で気が付くこともあり、又彼の作品を見ると胸の中へキュッと入って来たかと思うと、自然に笑みが出て来て幸せを感じるのであった。

彼は言う、「私は動物や出来るだけ身近にあるものを形にしようと心がけているので、自然そのものが自分の作品の出発点でもあると思っています」と。

私も彫刻家としては好きなもの

を好きなように作るのが幸せなのではないかと思う。彼が主に動物を彫刻のテーマに選んだのは、彼として大成功だし、私達他の彫刻家から見ると、大変うらやましいことである。

彼は「天才」であると思う。だからこそ、何も有名になるうとか、お金持ちになるうとか、全然考えていなかったのだ。

柴田先生!!ゼンチャーン!!お休み!!



部会だより

■デザイン部

「チャレンジケンテン」

デザイン部では、県展への県民の出品促進と協会の活性化を目指し、デザイン部のオリジナルリーフレットを作成しています。応募要項に加え、前回の受賞作品の紹介や出品についてのQ&A、会員外審査員のプロフィールなどの情報をわかりやすく掲載し、デザインに興味を持ってもらい、より多くの人に出品していただけるように、デザイン系の教育機関(大学、短大、専門学校、高校)等へ会員を通して配布し、県展認知と公募拡大の促進に繋がる資料としても活用しています。

(デザイン部会委員長 重松 依子)



令和5年度 在籍40年表彰者

公益社団法人福岡県美術協会では、40年間（1983年入会）にわたり、協会の運営に尽力した会員を表彰しました。

名誉会員【工芸部】釜我 敏子

正会員

【洋画部】高椋 眞一	【書 部】師村 立卿
【洋画部】内藤 弘子	【書 部】谷口 辰子
【工芸部】橋上 保太	【書 部】矢野 桑翠
【書 部】清原 大龍	【写真部】那須 昭典

慎んでお悔やみ申し上げます

- 柴田 善二さん（86歳）名誉会員（彫刻） 令和5年1月
- 小林 勲さん（81歳）写真部会員 令和5年1月
- 鳥飼 壽徳さん（86歳）洋画部会員 令和5年2月
- 石橋 清一さん（73歳）彫刻部会員 令和5年4月
- 田中 和子さん（94歳）書部会員 令和5年6月

増田 齋

〒819-0013 福岡県福岡市西区愛宕浜1-6-8
増田千鶴子 TEL/FAX 092-883-1867

額縁・画材・絵画・貸ギャラリー・表装

(株)カジキ美術



ホームページ

〒806-0021 北九州市八幡西区黒崎2-8-18
TEL: 093-642-0100 E-mail: kajiki@rapid.ocn.ne.jp

fas gallery

展覧会・出版のご案内

久保輝秋展

■7月24日(月) - 8月6日(日)

■ART SPACE 猿

38回目の個展です。猿では初めての企画展になります。テーマは「落とし穴シリーズ」です。(久保 輝秋)



「遊 (落とし穴)」久保 輝秋

第76回 示現会展

■8月29日(火) - 9月3日(日)

■福岡市美術館

4月に東京国立新美術館をスタートし、全国14か所にて巡回。巡回作品に地元福岡・久留米・日田・佐賀・長崎・山口の部員作品を展示いたします。(瀧井 利子)



大内田賞「アジサイのある卓上」大塚 美和子

八久保卓爾個展 さわやかな光の詩

■9月19日(火) - 9月24日(日)

■ひよこ ギャラリー天神

水彩画を中心に油絵や素描スケッチなど約40点を展示予定です。お気軽にお立ち寄り下さい。



「街角 (唐津)」 F6 八久保 卓爾

小嶋勇展

■9月30日(土) - 10月10日(火)

■gallery wabi

「大地の詩」シリーズよりミクストメディア作品新作を中心に30点を展示。



「EARTH-023」小嶋 勇

「西の風 写真&デザイン展」

■10月3日(火) - 10月9日(月・祝)

■田川市美術館

「空と雲と海」の写真+沖永良部島で撮影した写真や島のイメージポスターを展示します。(園 こうじろう)



「島のジョー」園 こうじろう

第32回 雲心書作展

一筆に想いをたくしてー

■10月11日(水) - 10月15日(日)

■旧古河鉱業若松ビル 2F

「自作の詩歌を書く」・「秋」よせて一はがき作品 併催 書画鑑賞コーナー「近・現代の書画」(山本 飛雲)

第28回 九洋展

■10月17日(火) - 10月22日(日)

■ギャラリー風 2F~3F

太平洋美術会西日本支部の年行事で絵画部が中心となって開催。(女賀 信太郎)



「街夕景」女賀 信太郎

宇美拓哉作品展

■10月30日(月) - 11月5日(日)

■ギャラリー風

第80回記念水彩連盟展 文部科学大臣賞作品を中心に小作品などの約30点を展示予定。(宇美 拓哉)



「ミスト」F100 宇美 拓哉

秀友会展

■11月11日(土) - 11月13日(月)

■コスメイト行橋

調和体・漢字作品を、伝統書道を基本にして、現代風に書いてみました。ご高覧ください。(工藤 崇峰)

第58回 游展

■11月14日(火) - 11月19日(日)

■ギャラリー SEL

約30年前に発足しました洋画の勉強会。会員17名の作品約40点を展示します。(女賀 信太郎)



「阿蘇外輪山秋景」女賀 信太郎

第9回 示現会展福岡支部公募展

■11月14日(火) - 11月19日(日)

■福岡県立美術館

福岡支部による公募展です。多くの皆様のご応募をお待ちしています。(瀧井 利子)

第74回 公募西部示現会展

■11月14日(火) - 11月19日(日)

■久留米市美術館 1F

出品受付11月10日(金) 会員の作品を始め100点程の展示を致します。皆様のご応募をお待ちしています。(重富 貞美)

「秋の道」重富 貞美



言葉のプレゼント II

一松本采歌と三方倉の仲間たちー

■11月27日(月) - 12月3日(日)

■ギャラリー風

令和元年12月開催の「言葉のプレゼント」。あれから4年、IIとして今回も熱い思いを言葉に乗せて。(松本 采歌)

「なんとか成る」秋本 采歌



川島幹夫写真展「水ごころ」

■11月24日(金) - 11月28日(火)

■えーるピア久留米 市民ギャラリー

溪流の水の表情を造形的に表現し、カメラでしかできない表現により、写真のすばらしさを伝えたい。また、環境保護の面からもアピールしていきます。(川島 幹夫)



「恋ごころ」川島 幹夫

第12回 示現会展福岡支部作品展

■11月28日(火) - 12月3日(日)

■ギャラリー SEL

日展系絵画団体の福岡支部による作品展です。新しい独自の表現をめざして約30点を展示します。(瀧井 利子)



「あじさい」川内 桂子

江藤紀世(日本画) 二人展 波多野雅子(洋画)

一有明に魅せられてー

■12月12日(火) - 12月17日(日)

■北九州市立美術館 黒崎市民ギャラリー

長年、有明海の情景に想いを寄せて制作。院展、日展に各々出品してきた二人の集大成展です。(江藤 紀世)



「歳月」江藤 紀世



「再生 (有明)」波多野 雅子

- ・ ART SPACE 猿tel 092-781-7597
- ・ 福岡市美術館tel 092-714-6051
- ・ gallery wabi tel 080-3901-6595
- ・ ひよこギャラリー天神tel 092-561-7111
- ・ 田川市美術館tel 0947-42-6161

- ・ ギャラリー風tel 092-711-1510
- ・ 旧古河鉱業若松ビルtel 093-752-3387
- ・ コスメイト行橋tel 0930-25-2300
- ・ ギャラリー SELtel 092-741-4890
- ・ 福岡県立美術館tel 092-715-3551

- ・ 久留米市美術館tel 0942-39-1131
- ・ えーるピア久留米 市民ギャラリーtel 0942-30-7901
- ・ 北九州市立美術館 黒崎市民ギャラリーtel 093-644-5206

【広報担当理事】 ● (デザイン) 佐土嶋文香 【広報委員会】 ● 委員長：(彫刻) 津田三朗

● 委員：(日本画) 峰松由布子 / (洋画) 大塚美和子 / (工芸) 津留崎順子 / (書) 古木青翰 / (写真) 高良慶治・植松佳春 / (デザイン) 市丸美波子